

心理小委員会 活動報告

心理小委員会
小委員長 和氣 典二

1. 小委員会の目的

心理小委員会では、「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」をテーマとし、心理学の観点から、地下空間における人間の行動について研究し、公共的地下空間の多様な利用者の知覚環境、災害時行動などに重点を置き、その成果を実際の地下施設への適用を検討することを目的として、フィールド実験を中心に研究活動を行っている。

2. 研究テーマと基本方針

2.1 テーマ

- (1) 土木・心理・建築からみた地下空間—仮称「わかりやすい地下空間と人間」の考えと展開
- (2) 地下における非常時の行動と交通弱者の行動
- (3) 移動手段の違いによる生理的・心理的負荷の程度や深度による影響の研究
- (4) QOLによる地下空間の評価

2.2 基本方針

- ・各分野から話題提供を頂き、「わかりやすい地下空間」とするためには、どのような点に注意すべきかまとめていく。
- ・地下における非常時（火災時、出水時、パニック等）の人間行動について、画像データを用いて非常時を再現することで心理的な側面から検討を行う。また、地下空間における交通弱者の行動について検討を行う。
- ・移動手段の違いが年齢によってどれくらいの疲労感をあたえるか、実空間を用いて心理的・生理的に調査する。
- ・QOLを用いた地下空間の評価手法について検討を行う。

2.3 研究スケジュール（3か年）

活動内容／年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
1)情報・資料の収集整理	←	→	
2)事例の調査・研究		←	→
3)課題の抽出, 具体的分析研究		←	→
4)成果とりまとめ			↔

3. 活動経過（平成 22 年 1 月～）

- ◇1 月 29 日（金） 第 7 回小委員会
 - ①話題提供 吉本委員：「QOL による地下空間評価法の研究」
 - ②映像を用いた実験の途中報告
 - ③鹿島学術振興財団の研究助成申請について
 - ④親委員会からの連絡事項
- ◇4 月 27 日（火） 第 8 回小委員会
 - ①鹿島学術振興財団の研究助成活動について
 - ②全国大会の発表の件、来年の地下シンポジウム原稿募集の件
 - ③今年の小委員会の進め方について
- ◇6 月 25 日（金） 第 9 回小委員会
 - ①話題提供 河本委員：「視環境に即した眼科検査の必要性」
 - ②地下空間研究委員会（親委員会、幹事会）報告
 - ③鹿島学術振興財団の研究方針について
 - ④今期の作業の進め方について
- ◇8 月 23 日（月） 第 10 回小委員会
 - ①施設見学会：竹中技術研究所
 - ②地下空間研究委員会（幹事会）報告
 - ③鹿島学術振興財団の研究状況について
- ◇11 月 12 日（金） 第 11 回小委員会
 - ①施設見学会：神奈川大学人間科学部
 - ②鹿島学術振興財団の研究状況と今後のスケジュールについて

4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先名称
委員長	和氣 典二	神奈川大学
副委員長	市原 茂	首都大学東京
委員	河本 健一郎	川崎医療福祉大学
委員	神作 博	中京大学
委員	釘原 直樹	大阪大学
委員	佐藤 歩	東京消防庁
委員	清水 則一	山口大学
委員	関口 佳司	関口佳司景観研究所
委員	高井 智代	名古屋工業大学
委員	西 淳二	NPOジオテクチャーフォーラム
委員	西田 幸夫	東京理科大学
委員	林 将廣	(株)アイ・エス・エス創研
委員	日比野 敏	(財)電力中央研究所
委員	本多 薫	山形大学
委員	松本 直司	名古屋工業大学
委員	三島 和子	セコムIS研究所
委員	水口 雅晴	三菱地所(株)
委員	向井 希宏	中京大学
委員	山村 信雄	(株)玄技術研究所
委員	吉本 直美	神奈川大学
委員	和氣 洋美	神奈川大学
委員	榎本 博明	—
幹事	床尾 あかね	東京海上日動リスクコンサルティング(株)
幹事	三田 武	(株)日建設計シビル